

日本味と匂学会誌 Article of the Year 2005 賞 発表

2005年9月に行われた編集委員会における選考の結果、2005年の受賞論文は、11巻3号(2004年12月号)223-236頁、総説論文「おいしさの原点と展開の諸相」山口 静子・玉木 有子 著と決定しました。ここに発表し、山口 静子氏および玉木 有子氏(東京農業大学応用生物科学部)を表彰いたします。

日本味と匂学会誌編委員会 委員長 柏柳 誠

日本味と匂学会誌「Article of the Year」賞創設の趣旨(2005年12月2日改正)

- 1) 創設の目的：日本味と匂学会誌への会員の質の高い論文および記事の投稿を誘うため。
- 2) 表象の主体：日本味と匂学会誌編集委員会(委員長名)
- 3) 選考：科学論文としての価値ばかりではなく、インパクト、おもしろさの視点から、日本味と匂学会誌編集委員会委員がe-mailで投票し、最高得点の記事を選ぶ(2003年から前編集委員も選考に参加)。
- 4) 対象記事：前年の日本味と匂学会誌3号と当該年の1号および2号の原著、総説、技術ノート、感想記、海外だよりを含む全ての記事を対象とする(ただし、3号の学会大会発表論文と全ての編集後記は除く)。
- 5) 賞金：編集経費から3万円を贈る。共著の場合は、筆頭著者あるいは、代表著者に贈る。
- 6) 発表と表彰：当該年味と匂学会誌3号(論文集号)での誌上発表および表彰とする。